

# 一般質問通告一覧表

平成28年12月第4回定例会

(全て 一問一答)

質問者	質問事項	質問の要旨
奥野 学	(1) 深日火葬場解体事業について	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度において解体を予定しているが解体後の跡地整備をどの様に計画しているのか。</li> </ul>
	(2) 道の駅「みさき」整備事業について	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年9月第3回定例会において確認した同施設の合併浄化槽から排水される汚水、雑排水の放流について西水利組合と協議中とのことでしたがその結果はどのようなになったのか。</li> <li>平成28年度末に第二阪和国道供用開始と同時に道の駅「みさき」オープンとなるが予定どおりに進行しているのか。</li> </ul>
田島 乾正	(1) 教育について	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園・小学校・中学校等の安全安心な給食提供と給食費の無料化について。</li> <li>幼稚園の快適な教室の空調整備について。</li> </ul>
	(2) 農地について	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地・休耕地等の有効活用対策について、岬町の農地の現状を行政として農業の将来展望をどのように考えているのか。</li> </ul>
	(3) 空き家について	<ul style="list-style-type: none"> <li>少子高齢化が進み、岬町においても空き家が増えつつあり、個人の財産と言え、人が居住しない家屋は老朽化が進み、放置すると危険家屋となります。</li> <li>田舎暮らし・家庭菜園を希望する方のために、農地と空き家とのセットで岬町が窓口となり定住者の確保を考えたがあるのか。</li> </ul>
	(4) コミュニティバスについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、暫定的運行としている岬町内をコミュニティバス運行をしていますが、利用者からの運行見直しの声があり、利便性向上にどのような運行計画をされているのか。</li> </ul>
	(5) 美化センターについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>岬町単独で住民のゴミを焼却処理をしていますが、美化センターの建設から、かなりの年月を積み重ねていますが、美化センターの将来展望をお尋ねします。</li> </ul>
竹原 伸晃	(1) 安心安全なまちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織の運営実態と今後の課題について</li> <li>消防設備・資機材の更新計画について</li> <li>危機管理部門を本庁舎から移転させたらどうか</li> <li>危機管理担当職員の拡充について</li> <li>泉州南消防組合を設立した時のメリットとして負担金の軽減と言われていたが、実際は負担が増えるばかりではないか</li> </ul>
	(2) 岬町運行バス事業について	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年間の運行経費見通しは出ているのか</li> <li>次年度の運行方針について</li> </ul>
坂原 正勝	(1) ご当地ナンバープレートについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>本町での採用を検討されたい</li> </ul>
	(2) 心の体温計について	<ul style="list-style-type: none"> <li>本町での採用を検討されたい</li> </ul>
	(3) 再任用制度について	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働環境の整備と住民サービス向上の観点から、現状の課題と解決策を問う</li> </ul>

質問者	質問事項	質問の要旨
和田 勝弘	(1) 岬町健康ふれあいセンター展望台設置について	健康ふれあいセンター前方に大阪湾の海の風景と景色が見える展望台の設置
松尾 匡	(1) 道の駅「みさき」の進捗状況について	第二阪和国道の延伸工事とともに建設中の道の駅「みさき」について、現在までの進捗状況と今後の予定、住民・地域との関わりなどを、ハード・ソフトの両面についてお聞きします。
	(2) 泉州観光プロモーション推進協議会の進捗について	堺市以南9市4町と関西エアポート株式会社が一体となり、地域資源や特性を活かした観光振興やプロモーション活動を展開している「泉州観光プロモーション推進協議会」。現在までの進捗状況と、各自治体との連携の有無、岬町として今後どうプロモーションし、動いていくのか等をお聞きします。
中原 晶	(1) 介護保険事業について	介護保険事業のうち、「地域包括支援センター」の機能の主要な部分を、来年度から社会福祉協議会に委託する計画が示されているが、要支援者のサービス低下につながるのではないかと懸念されている。地域包括支援センターの事業のうち、住み慣れた地域で安心して暮らすための相談・支援事業や、困難な事例にも対応する「包括的支援事業」と、総合事業対象者と要支援者のケアプランの作成、相談・支援をおこなう「介護予防ケアマネジメント事業」という「センター」機能の主だった役割を社協に移すことで、要支援者とその家族に混乱やサービス低下が生じる懸念がある。来年度から「総合事業」という新たな制度が導入されることもあり、少なくとも来年度からの委託の計画は見送るべきではないか。
	(2) 学校教育施設・生涯学習施設へのエアコン設置について	学校教育施設(小・中学校の普通教室、幼稚園の保育室)へのエアコン設置が急がれると考えるが、昨年6月議会で質問した時点ではまずは調査をおこなうとの回答で、「学校環境衛生管理マニュアル」に基づく毎年の検査に加えて、町独自に温湿度計を購入し、継続的に夏場の検査をおこなう努力がはらわれてきたと聞き及んでおり、その検査結果をお示しいただきたい。さらに、その結果を受けて、町として普通教室や幼稚園の保育室へのエアコン設置について、どのようにお考えをおたずねする。合わせて、生涯学習施設、とりわけ町民体育館へのエアコン設置についても必要性があるかと考えるが、町の考えはどうか。
	(3) 「子どもの貧困」対策について	「子どもの貧困」が社会問題化し深刻化するも、子どもが生まれ育った環境によってその将来が左右されることのないよう、子どもたちの健やかな成長を保障する環境の整備や教育の機会均等を図ることを目的に、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が2013年に成立した。法律では、地方自治体にも教育や生活などの支援を講じるよう義務付けており、岬町でも「子どもの貧困」対策を推進すべきと考える立場から、まずは調査・研究にもとづく実態把握が必要であるとする。この点に関わっての計画や取り組みがあればお示しいただきたい。